

吉田矢部地区だより

YOSHIDAYABECHIKURENGOUKAI

会長所見

吉田矢部地区連合会会長 川畑 孝男

皆様こんにちは、吉田矢部地区連合会・社会福祉協議会会長の(川畑)です。会員の皆様には、日頃から多大なる御支援と御協力を賜り誠に有難う御座います。

令和2年度は、吉田矢部地区連合会・社会福祉協議会(以下連合会)設立3年目を迎えました。当初例年通りの多くの行事の遂行を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大がみられ、感染予防の観点から行事の規模縮小あるいは中止せざる得なくなりました。誠に残念で会員及び地域の皆様には、申し訳なく思っています。

さて、その様な中でも連合会主催で、例年10月に実施していた「健民体育祭」に代わるものとして、皆様に参加できる行事が出来ないものかと体育部会・青少年部会と共に熟慮のすえ、元オリンピック選手の渡邊高博氏を招いての「子供かけっこ教室と大人ランニング教室」を企画し実施できました。また、例年11月に実施していた「花火大会」も感染予防の為に止む得ず案内など公知せず、無観客で、かつ、規模を縮小し「コロナ収束の願い」を込めて実施出来た事は、この危機的な状況の中で大変嬉しい事だと思っています。花

火実行委員会(坂間)委員長の他、委員(花火師)の皆様方に御礼申し上げます。

令和3年度もまだまだ予断を許さない状況ではありますが、例年通りの企画が出来ないものかと思慮してはいます。しかし、更に感染拡大の持続が想定される場合には、昨年と同様に知恵を絞り、出来る範囲内で規模を考慮しながら行事を企画立案し、実施したいと思っています。その折には、是非皆様方の御参集・御参加を御願い致します。

結びとして、令和3年度は、行政機関も積極的に推奨し支援している「IoT化」を促進し実行すると共に、昨年御案内致しました連合会として第4期ハートプランを、「笑顔と挨拶で紡ぐ安心のまち吉田矢部」のテーマと共に令和3年度より開始しますので、会員並びに地域皆様の御支援と御協力の程、宜しく御願い致します。

尚、昨年末には、これまでの「連合会の活動とハートプラン取組状況」を戸塚区社会福祉協議会と上倉田地域ケアプラザ及び戸塚区役所地区担当者の多大なる御指導と御支援により(駒木)ハートプラン推進委員長と共にYou Tubeにて発表する機会があり公知する事が出来ました。関係者の皆様方には、御礼申し上げます。

では、会員と地域の皆様方の御健康と御多幸を祈念し所見と致します。有難う御座いました。

(令和3年2月18日)

ハートプランについて

ハートプラン推進委員長 駒木 純夫

現在戸塚区では地域福祉保健計画(愛称とつかハートプラン)を平成18年からスタートさせました。これは「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」を基本理念とし、自分たちの地域を自分たちの力で良くしていこうという計画です。

戸建てが多いか集合住宅が中心なのかによってそれぞれ地域性などが異なります。そこで、そこに住む地域住民が主体となってよりよい地域社会を実現していくことが大切になってくる。このた

め5年ごとに第1期から第4期まで地区ごとにハートプランを作成し、推進しています。

吉田矢部地区は令和3年3月末までの第3期の途中から参加しました。そこで、プラン作成の準備段階として、連合に所属する個々の町内会、自治会、各部会が現在取り組んでいる地域活動について実態調査をしてまいりました。

4月から第4期が始まります。吉田矢部地区は戸塚駅に近い地域なので就労人口割合が多いという特色があります。このような特色、さらに前述の調査結果をふまつつ吉田矢部地区ハートプランのスローガンである“笑顔と挨拶で紡ぐ安心のまち吉田矢部”を推進してまいりますので皆様のご協力をいただきたくお願い申し上げます。

桜の木が伐採される

長年グランフォーレ桜祭りなどで地域の方々に親しまれていた八幡山のソメイヨシノが7月に伐採されました。これは、植樹後50余年が経過し、寿命を迎えつつある。また、多くの幹に空洞があり、台風などで倒木の恐れがあるので、日立の社有地内の65本すべてを伐採するということでした。



△かつての桜並木△



△伐採された桜

そこで、令和2年のグランフォーレ桜祭りは、名残惜しみつつ盛大に開催する予定でいましたが、新型コロナウイルスが蔓延し、非常事態宣言（1回目）が発出される事態となり、残念ながら中止せざるを得ませんでした。それでも、皆さんは個々に歩きながら、あるいは桜の下に座って花見をしていました。



桜守佐野藤右衛門氏、大島桜の調査に来訪

桜守の16代目佐野藤右衛門氏（92歳、京都・嵯峨野在住）が、3月24日にグランフォーレ北側の丘の上に立つ大島桜の調査に来訪。これにはNHKの撮影隊も同行していました。

調査後、グランフォーレのコモンハウスサロンで川畑会長らと40分余りにわたって懇話会が設けられ、その中で次のようなことが語られました。

- ① 少し離れたところに子供の大島桜があり、樹齢は30～50年くらいと思われ、樹齢が150年と思われる親の大島桜に比べるとまだ若い。花粉があまり出てない。親の方は成熟しているので花粉がたくさん出ている。
- ② 葉を見ると、子供の大島桜は山桜と交配している可能性がある。山桜の葉は大島桜よりも小さい。また、赤みを帯びている。これもそうだ。
- ③ また、2本の子供を比較すると花の大きさが著しく異なる。交配した山桜が違うかもしれない。
- ④ とくに花が大きな子供の大島桜は、今回の調

査での大発見。100年に1回あるかないか。このような発見は

全国の花を見て歩いている自分の生涯でも4本しかない。花が咲いていなければ見過ごすところだった。

- ⑤ 桜の花弁は通常5枚だが、この花は6枚あるように見える。そのうちの1枚は「ハタベン」（旗弁：キベン、雄しべが変化し、花弁化したもので、完全に花弁になっていないもの）である。
- ⑥ 一房に3つの花が付くのが多いけれども、これは4つ付いている。親の大島桜も4つ。親子に間違いはない。
- ⑦ 将来に残るように、種類は大島桜ではあるけれども、地域で親しまれ、長く残るように名前（通称・愛称として、例：神代桜、三春の滝桜）を付けたらよい。
- ⑧ 親の大島桜は人の手で植えられたように見える。今後移植されると聞いている。今度、子供の近くに移植されるのも何かの運命でしょう。なお、移植は1月の予定が、非常事態宣言発出のため延期。3月6日着手、30日完了予定。



△大島桜



△佐野藤右衛門氏



△懇話会



スポーツイベント「子供かけっこ教室」



中止が決まった健民体育祭に代わるものとして、10月11日(日)に東戸塚小学校のグラウンドで子供かけっこ教室が開催されました。前日は台風の大雨で開催が危ぶまれましたが、東戸塚小学校のグラウンドは水はけがよく、開催に何ら問題はありませんでした。

講師にはバルセロナオリンピック出場の渡邊高博氏をお招きし、熱心なご指導をいただきました。午前9時開始の小学生向けの子供かけっこ教室には約40名、11時開始の中学生以上の大人ランニング教室には約30名が参加しました。参加者は受付で参加者登録と検温を実施しました。

かけっこ教室では、“速く走るポイント”は『背筋をしっかり伸ばす』『そのまま前に倒れる』という2つだけ。また、マラソン・ジョギングの走法は、正しいフォームと重心移動が大切。さらに、肘を前に出すことで自然な動きができるという、シンプルな事前説明の後、準備運動、走り方の基本の反復練習、トラックのコーナーワークなどの実技指導が行われ、最期クールダウンの順序で進められました。

参加した小学生は、運動会できつとより早く走り、実力を発揮することができることでしょ



▲ スタートは背筋を伸ばし前傾



▲ コーナーは目線を円弧の中心に



▲ 肘を前に出して



ソフトバレー大会を開催

青少年部会・体育部会

コロナ禍により大勢で集まって行うイベントの企画が厳しかった令和2年度。接触プレーが他の球技より少ないと判断し、秋のソフトバレー大会を開催しました。感染防止のため体育館の扉を全て開放して換気を十分に、そしてプレーする選手のみコートに、応援は扉の外からとしました。

春の大会は緊急事態宣言解除後自粛し中止にしましたが、秋は約60名、12チームが参加し、温泉の素や果物等の副賞獲得を目指して戦いました。初めは遠慮がちに声を掛け合っていましたが、次第に熱を帯びて行って、日頃のコロナ禍のストレスを吹っ飛ばすプレーが続出しました。幸い選

手に怪我等もなく、新型コロナの感染者もありませんでした。クラスターにもなりません

優勝は順位決定選の決勝トーナメントで伝丸ラーメンズを破った吉田元町町内会の元町エース。試合は、予選ブロック3試合、順位決定選で2試合、フルセットでの5試合を行いました。参加された方々は皆良い汗を掻いた一日でした。

今回審判団はマスク着用で電子ホイッスルを使用しましたが、熱くプレーする選手たちに声を届ける為に、次回はハンドフリーの拡声器を購入しようと思います。早く多くのチームが参加できる環境になってもらいたいものです。



年末の風物詩 クリスマスリースづくり

子どもたちが楽しみにしていたクリスマスリースづくりが12月6日(日)行われました。今回は密を避けるため、会場をグランフォーレと新プロムナード矢部集会所の2か所に設け、それぞれ午前9時と11時の2回開催しました。

▼ 新プロムナード矢部集会所での様子



会場では数組の親子が、リースベースにモール、カラーボール、スター、リボン、ハートを思い思いに取付けながら楽しそうに作業を進めていました。

▼ グランフォーレでの様子



▲ 力作の手作りリース ▶



“コロナ退散”花火大会 吉田矢部地区連合会

11月14日(土)19:15から15分間、東戸塚小学校校庭から花火を打上げました。今年は、コロナ禍のため規模を縮小し、非公表・無観客で行いました。なお、アピタ様のご厚意により、東戸塚小学校の6年生児童のために屋上を開放していただきました。コロナ禍で行事が少なかった児童にとっては、この花火は良い思い出になったようです。今年はみんなで花火を楽しみたいですね。



ボッチャ体験会

老人部会

老人部会主催のボッチャ体験会が、プロムナード矢部集会所において、2020年1月26日(日)午後1時30分から開催されました。ボッチャは東京2020パラリンピックの競技種目でもあり、子供からシニアまで楽しむ事ができるスポーツです。

参加者は24名。「思っていたよりも簡単」「的玉に近づけるのは難しい」「今日はただ投げただけだったけれども、次はもっと戦略的にやってみよう」と感想を述べておられました。

